

地熱促進三大イベント (GATE Day, Japan)

Geothermal Accelerative Triple Events' Day, Japan

ご案内

(参加費無料 定員100名)

<http://unit.aist.go.jp/georesenv/event/gatedayjapan/>

2009年8月5日(水) 10:00~17:20

産総研臨海副都心センター別館11階会議室(裏面に案内図)

ごあいさつ

GATE Day Japan 実行委員会委員長 野田 徹郎

我が国の地熱開発は過去10年間休眠状態にありましたが、昨今、石油資源の枯渇と地球温暖化といった二つの大きな地球規模の問題が顕在化し、地熱開発に対する見直しの気運が高まっております。このような状況の中で、資源エネルギー庁では今後の我が国における地熱開発の指針となる「中間報告書」がとりまとめられました。一方、地熱技術開発株式会社が1978年以来たゆむことなく続けてきた「地熱研究会」の活動と、独立行政法人産業技術研究所を中心とした継続的な研究活動が、地熱再興の礎となっていることも見逃せません。そこで今回、昨今の地熱開発促進の新しい状況を皆様に御理解いただくため、上記三つの活動に基づく話題を集め、関係者が一堂に会した合同イベントを企画いたしました。このイベントが地熱再興の新たな一里塚となることを皆様とともに祈念いたします。

GATE Day Japan シンポジウムプログラム

10:00 開会の辞 江原幸雄(日本地熱学会会長)

10:05~12:00 第I部 地熱発電に関する研究会「中間報告書」シンポジウム

司会 芦田讓(地熱発電に関する研究会座長)

1. 「中間報告書」について 電力基盤整備課
2. 中間報告書のキーとなるテーマの紹介
 - ①事業化の課題とインセンティブ付与のあり方 安達正敏(奥会津地熱(株))
 - ②地上環境に配慮した開発技術等について 中田晴弥(地熱技術開発(株))
 - ③地熱発電の周辺温泉への影響について 野田徹郎((独)産業技術総合研究所)
3. 総合討論

12:00~13:15 休憩 (13:00~13:15 地熱研究会 総会)

13:15~15:15 第II部 地熱研究会講演会(地熱技術の伝承)

司会 當舎利行(地熱研究会会長・(独)産業技術総合研究所)

1. 貯留層管理技術 花野峰行(日本重化学工業(株))
2. 探査技術 田竈功一(西日本技術開発(株))

15:15~15:30 休憩

15:30~17:15 第III部 産総研における地熱研究

司会 矢野雄策((独)産業技術総合研究所)

1. パラダイム転換としての地熱開発推進 村岡洋文((独)産業技術総合研究所)
2. 物理探査技術研究と海外の最新動向 内田利弘((独)産業技術総合研究所)

17:15 閉会の辞

17:30~19:30 懇親会(産総研臨海副都心センター11階)会費4,000円

参加申し込みは産総研地圏資源環境研究部門ホームページの下記 URL

<http://unit.aist.go.jp/georesenv/event/gatedayjapan/>

よりお願いします。定員になり次第締め切らせていただきます。

主催 : Gate Day Japan 実行委員会

共催 : (独)産業技術総合研究所, 地熱研究会

後援 : 日本地熱学会, 日本地熱開発企業協議会 (地開協)

連絡・問い合わせ先 :

産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門

當舎利行 (toshi-tosha@aist.go.jp, 029-861-3518)

柳澤教雄 (n-yanagisawa@aist.go.jp, 029-861-2410)

産総研臨海副都心センターへの公共交通案内図

